

2027年3月期第1四半期決算の概要

2026年8月6日
東レ株式会社

I . 2027年3月期 第1四半期決算の概要	3
II . 2027年3月期 上期連結業績見通し	13
III . 参考資料	17

連結業績

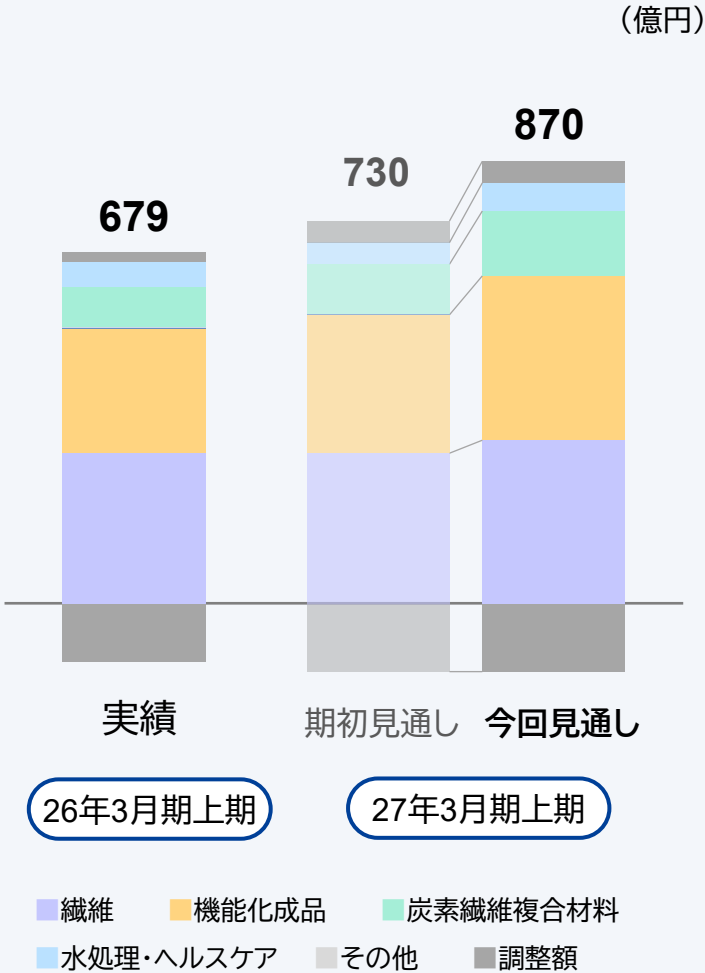
- 1 第1四半期の事業利益は484億円と前年同期比で大幅な増益
- 2 上期の事業利益は第1四半期業績動向等を踏まえ期初見通しを上方修正
- 3 通期見通しは第2四半期の決算発表時に適宜見直しを予定

	27年3月期 第1四半期 事業利益		27年3月期 上期 事業利益		
	実績	前年同期比	期初見通し*2	今回見通し	期初見通し比
繊維	180	+28	350	380	+30 ↑
機能化成品	231	+94	320	380	+60 ↑
炭素繊維複合材料	79	+33	115	150	+35 ↑
水処理・ヘルスケア *1	31	+18	50	65	+15 ↑
その他 *1	24	+17	50	50	-
調整額	▲ 61	+4	▲ 155	▲ 155	-
合計	484	+194	730	870	+140 ↑

*1: 27年3月期から水処理事業と医薬・医療事業を「水処理・ヘルスケア」に統合。
エンジニアリング事業は「その他」に含む。

*2: 期初見通し: 2026年5月13日公表値

上期 事業利益推移



I

2027年3月期 第1四半期決算の概要

億円 <為替レート>

	26年3月期 第1四半期	27年3月期 第1四半期	増減
売上収益	5,958	6,790	+831 (+14.0%)
事業利益	291	484	+194 (+66.6%)
(売上収益事業利益率)	4.9%	7.1%	+2.3 ポイント
非経常項目	▲ 16	▲ 11	+5
金融収益及び費用	▲ 23	▲ 24	-0
持分法による投資損益	31	41	+10
税引前四半期利益	282	491	+208 (+73.8%)
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	172	313	+141 (+82.3%)

		26年3月期 第1四半期	27年3月期 第1四半期
円/US\$	期中平均	144.6	159.5
	期末	144.8	162.4
円/ユーロ	期中平均	163.8	185.4
	期末	169.7	185.4

<非経常項目>

固定資産売却益	1	10	+10
固定資産処分損	▲ 11	▲ 18	-7
減損損失	▲ 5	▲ 3	+2
非経常項目	▲ 16	▲ 11	+5

億円

	26年3月末	26年6月末	増減
資産合計	34,770	34,921	+151
流動資産	15,290	15,883	+593
有形固定資産	11,759	11,671	-88
その他	7,721	7,368	-354
負債合計	15,491	15,442	-50
流動負債	8,580	8,507	-73
非流動負債	6,912	6,935	+23
資本合計	19,278	19,479	+201
自己資本*	18,001	18,171	+171
自己資本比率*	51.8%	52.0%	+0.3ポイント
有利子負債残高	9,056	9,011	-44
D/Eレシオ	0.50	0.50	-0.01

<フリー・キャッシュ・フローの状況>

	26年3月期 第1四半期	27年3月期 第1四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	499	541	+43
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲506	▲332	+174
フリー・キャッシュ・フロー	▲8	209	+217

* 自己資本＝親会社の所有者に帰属する持分

億円

	26年3月期 第1四半期	27年3月期 第1四半期	増減
設備投資額	350	238	-112
東レ	55	87	+32
連結子会社	295	151	-144
減価償却費	327	349	+21
東レ	82	87	+5
連結子会社	245	261	+17
研究開発費	181	182	+1
東レ	127	128	+1
連結子会社	54	54	+0

主な設備投資案件

東レ株式会社

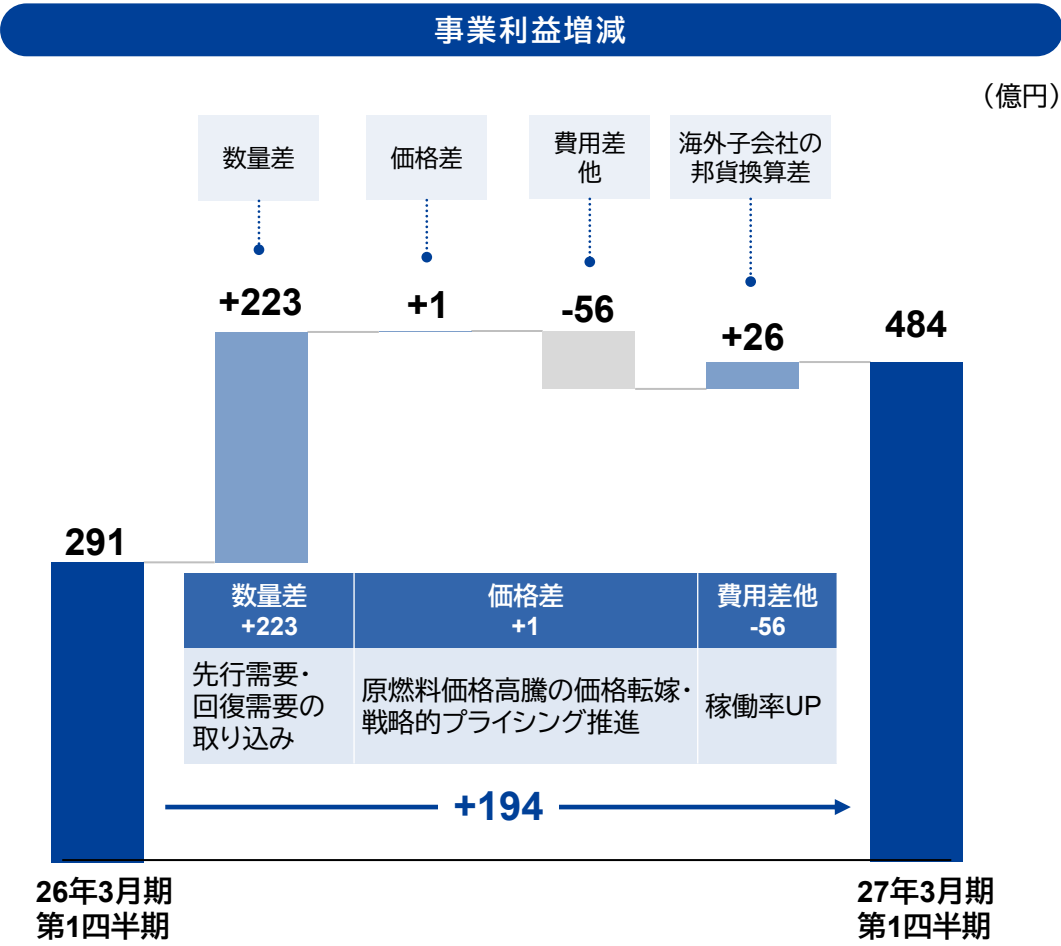
: ポリプロピレンフィルム生産設備

セグメント別売上収益・事業利益、事業利益増減要因分析

概況

全体として中東情勢悪化による原燃料価格高騰の影響を受けたが、緊急対策としての価格転嫁やコスト改善に努めた。各セグメントでは、繊維・機能化成品の自動車用途、炭素繊維複合材料の航空機用途等を中心に回復基調となった。これらの結果、全社事業利益は484億円となり、前年同期比67%の増益となった。

売上収益・事業利益		(億円)			
		26年3月期 第1四半期	27年3月期 第1四半期	増減	
売上収益	繊維	2,399	2,599	+200	(+8%)
	機能化成品	2,201	2,511	+310	(+14%)
	炭素繊維複合材料	669	897	+228	(+34%)
	水処理・ヘルスケア	358	407	+49	(+14%)
	その他	332	376	+44	(+13%)
	合計	5,958	6,790	+831	(+14%)
事業利益	繊維	152	180	+28	(+18%)
	機能化成品	136	231	+94	(+69%)
	炭素繊維複合材料	46	79	+33	(+71%)
	水処理・ヘルスケア	14	31	+18	(+127%)
	その他	8	24	+17	(+220%)
	調整額	▲ 65	▲ 61	+4	
	合計	291	484	+194	(+67%)
事業利益率		4.9%	7.1%	+2.3ポイント	

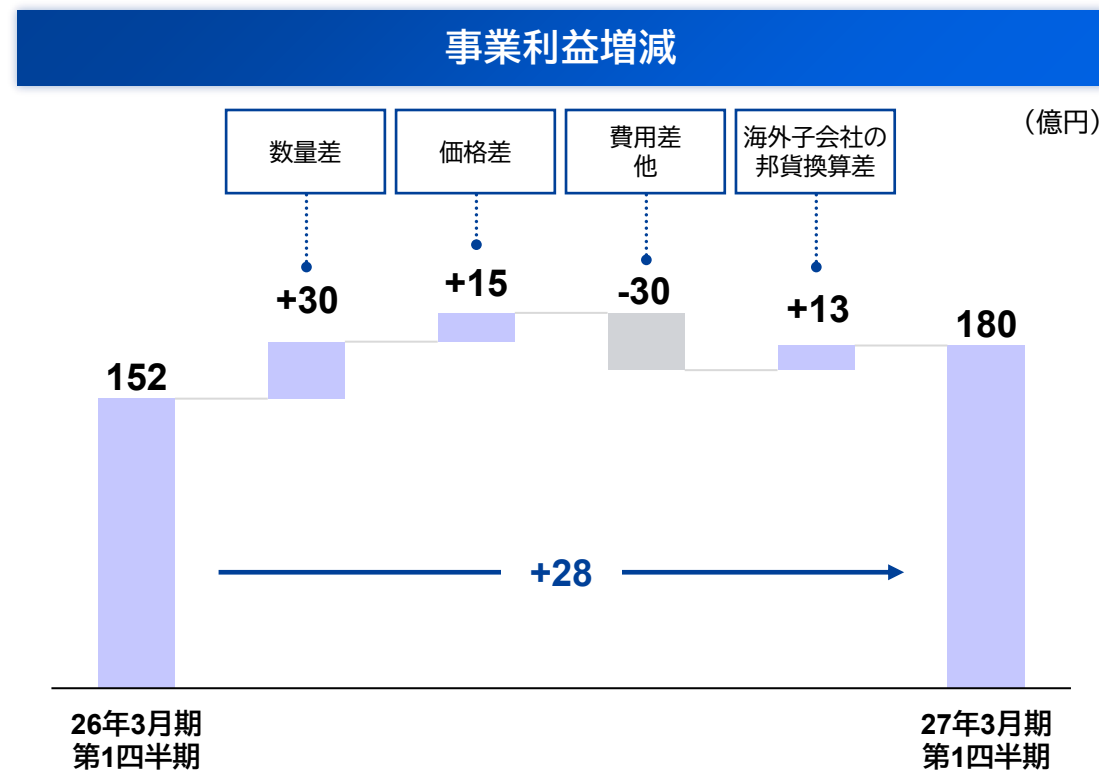


■ 事業別概況

衣料用途 海外品との競争激化の影響を受けたが、需要の取り込みに注力した。

産業用途 自動車用途等を中心に緩やかな回復基調となった。

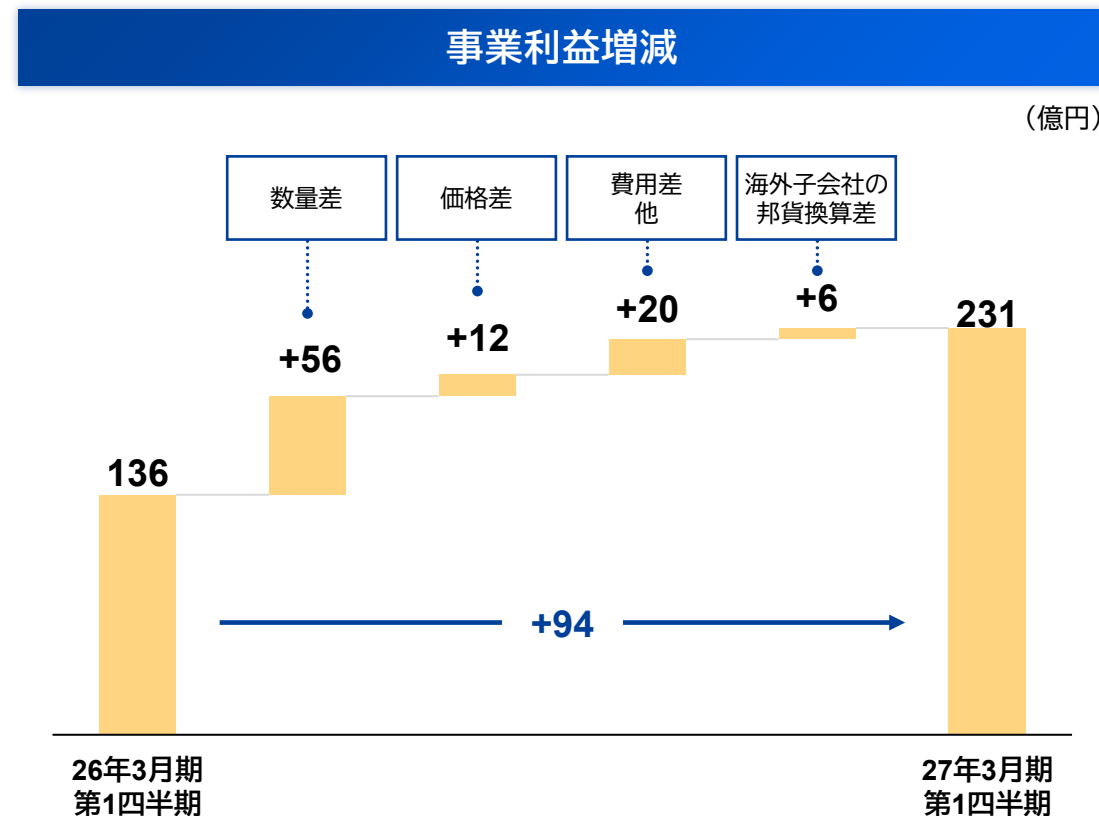
		26年3月期 第1四半期	27年3月期 第1四半期	(億円)	
				増減	
売上収益		2,399	2,599	+200	(+8%)
事業利益	衣料用途	132	132	+0	(+0%)
	産業用途	20	47	+28	(+140%)
	計	152	180	+28	(+18%)



事業別概況

- 樹脂・ケミカル** 中東情勢悪化により原料価格高騰の影響を受けたが、価格転嫁を進めるとともに、販売が堅調に推移した。
- フィルム** MLCC等の電子部品用途や、光学用途の販売が好調に推移した。
- 電子情報材料** 有機EL関連材料・回路材料が中国でのパネル需要低迷及び競争激化の影響を受けたが、パワーインダクタ用途の販売が伸長した。

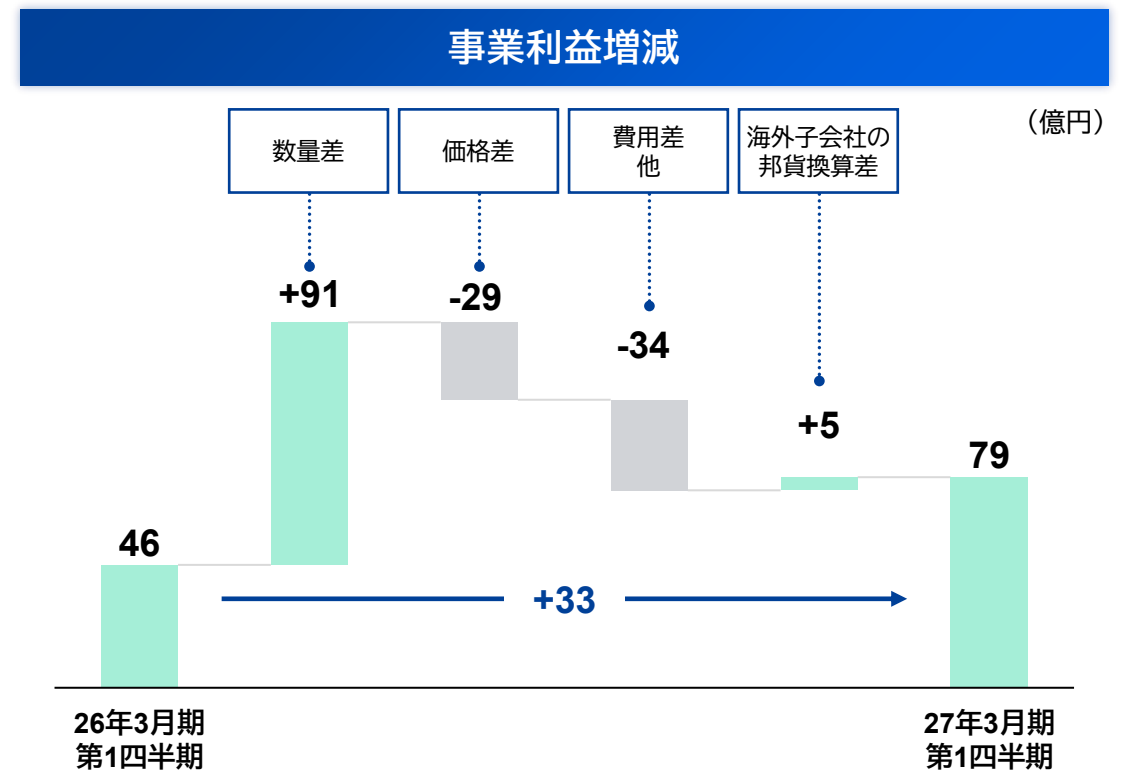
		(億円)			
		26年3月期 第1四半期	27年3月期 第1四半期	増減	
売上収益	樹脂・ケミカル	825	985	+160	(+19%)
	フィルム	766	866	+99	(+13%)
	電子情報材料	198	226	+28	(+14%)
	その他・修正	411	435	+23	(+6%)
	計	2,201	2,511	+310	(+14%)
事業利益	樹脂	48	102	+54	(+111%)
	ケミカル	22	36	+15	(+69%)
	フィルム	41	57	+16	(+38%)
	電子情報材料	17	19	+2	(+12%)
	その他・修正	8	16	+8	(+103%)
	計	136	231	+94	(+69%)



■ 事業別概況

- 航空、宇宙・防衛 航空機用途は大手顧客向けの販売が順調に拡大し、宇宙・防衛用途の販売も伸長した。
- スポーツ 総じて堅調に推移した。
- 一般産業 圧力容器用途・風力発電翼用途を中心に回復基調となった。

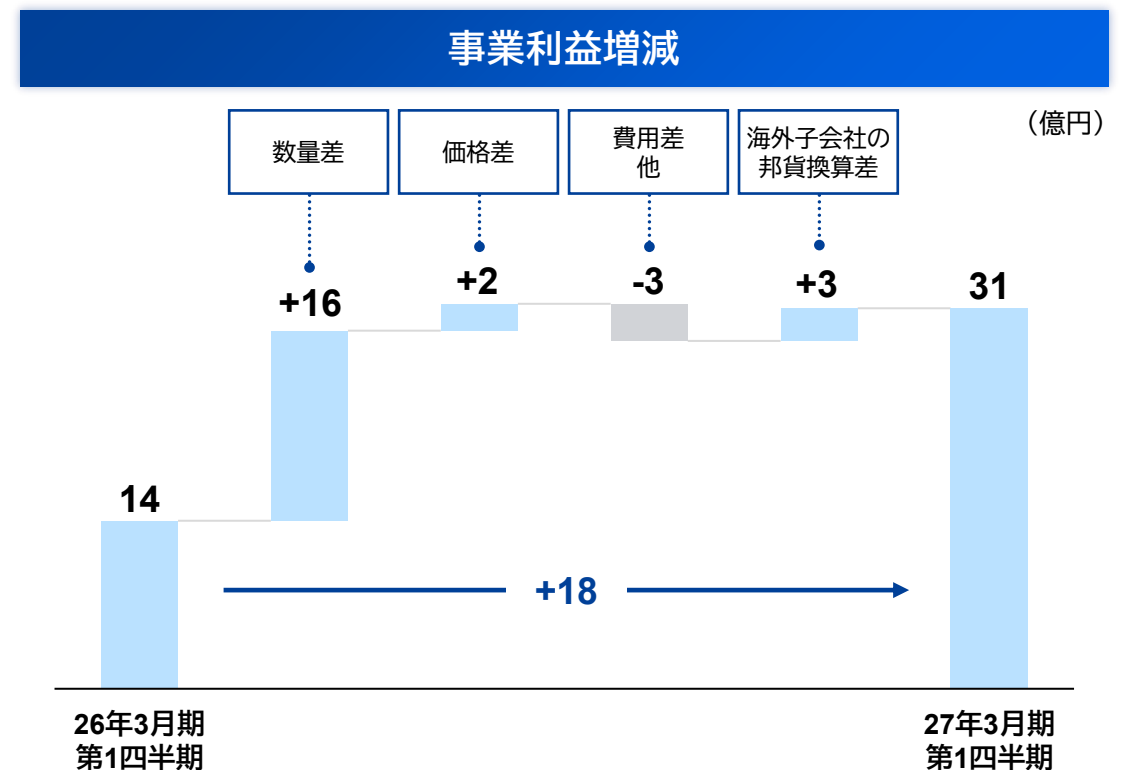
		(億円)			
		26年3月期 第1四半期	27年3月期 第1四半期	増減	
売上収益	航空、 宇宙・防衛	233	388	+154	(+66%)
	スポーツ	71	86	+15	(+22%)
	一般産業	364	423	+58	(+16%)
	計	669	897	+228	(+34%)
事業利益	航空、 宇宙・防衛	40	54	+14	(+35%)
	スポーツ・ 一般産業	6	25	+19	(+311%)
	計	46	79	+33	(+71%)



事業別概況

- 水処理** 中国の市況低迷の影響が継続したものの、中東大型案件向け逆浸透膜の出荷及び主要市場である米州での販売が堅調に推移した。
- 医薬・医療** 医薬品の販売が伸び悩んだが、血液透析用ダイアライザーの高付加価値品へのシフト及びコスト削減に努めた。

		(億円)			
		26年3月期 第1四半期	27年3月期 第1四半期	増減	
売上収益	水処理	241	280	+39	(+16%)
	医薬・医療	117	127	+10	(+9%)
	計	358	407	+49	(+14%)
事業利益	水処理	23	32	+9	(+37%)
	医薬・医療	▲ 13	▲ 9	+4	(-)
	修正	3	8	+4	
	計	14	31	+18	(+127%)



主要子会社・地域の収益状況

‘TORAY’

億円

		売上収益			事業利益		
		26年3月期 第1四半期	27年3月期 第1四半期	増減	26年3月期 第1四半期	27年3月期 第1四半期	増減
東レインターナショナル		1,510	1,615	+106	31	32	+1
東レエンジニアリング		233	284	+51	3	13	+10
東レ建設		100	106	+6	▲1	7	+7
東レフィルム加工		106	115	+9	10	15	+5
東南アジア・子会社	繊維	356	421	+65	▲0	7	+7
	機能化成品	373	363	-10	19	34	+15
	その他	25	21	-4	0	0	+0
	計	754	806	+51	19	42	+22
中国・子会社	繊維	852	972	+120	76	87	+11
	機能化成品	288	385	+97	17	20	+3
	その他	102	104	+2	7	7	+0
	計	1,241	1,461	+220	100	114	+14
韓国・子会社	繊維	178	204	+26	2	10	+8
	機能化成品	419	455	+37	33	39	+6
	その他	81	92	+10	7	18	+11
	計	678	750	+73	43	68	+25
欧米その他・子会社	繊維	268	291	+23	5	5	-0
	機能化成品	381	438	+57	▲10	▲1	+9
	その他	632	904	+272	28	54	+26
	計	1,281	1,633	+352	23	58	+35

Ⅱ

2027年3月期 上期連結業績見通し

業績見通しの前提

世界経済は、緩やかな回復局面が続くと見込まれる。国内経済も、緩やかに回復が続くとみている。ただし、中東紛争に伴う原燃料の価格高騰及び供給制約、影響の長期化による景気下押しが下振れリスクとして存在する。また、米国の通商・外交政策の動向及び各国の対応、AI関連需要の行方、中国経済の低迷が、足元の経済動向を左右するとともに、中長期的にはサプライチェーンや貿易構造の変化に大きく影響する可能性がある。

	26年3月期 上期実績	27年3月期 上期見通し	増減		期初見通し*1 上期	期初見通し との差異
売上収益	12,343	13,900	+1,557	(+12.6%)	13,700	+200
事業利益	679	870	+191	(+28.2%)	730	+140
親会社の所有者に 帰属する当期利益	369	450	+81	(+21.8%)	400	+50

*1 期初見通し：2026年5月13日公表値

基本的1株当たり 当期利益	24.23 円	30.90 円
1株当たり配当金	10.00 円	13.00 円 ^{*2}

7～9月
為替レート的前提
155円／US\$

*2 2027年3月期 第2四半期末配当金(予想)の内訳：普通配当10円、記念配当3円

セグメント別 上期連結業績見通し

繊維・機能化成品・炭素繊維複合材料セグメントでの成長分野の需要拡大等を取り込むと共に、戦略的プライシングと収益改善プロジェクトの効果発現により増収増益の見通し。業績見通しには、中東情勢に伴うリスクを織り込んだ。

億円

		26年3月期実績			27年3月期 見通し	増減	5月13日公表値 との差異
		上期	下期	通期	上期	上期	上期
売上収益	繊維	5,040	5,471	10,511	5,400	+360	—
	機能化成品	4,433	4,512	8,944	5,000	+567	—
	炭素繊維複合材料	1,354	1,647	3,001	1,750	+396	+150
	水処理・ヘルスケア	773	895	1,668	850	+77	+50
	その他	743	984	1,726	900	+157	—
	合計	12,343	13,508	25,851	13,900	+1,557	+200
事業利益	繊維	350	330	680	380	+30	+30
	機能化成品	288	275	563	380	+92	+60
	炭素繊維複合材料	94	82	176	150	+56	+35
	水処理・ヘルスケア	57	94	151	65	+8	+15
	その他	23	137	161	50	+27	—
	調整額	▲ 134	▲ 178	▲ 312	▲ 155	-21	—
	合計	679	740	1,419	870	+191	+140
事業利益率		5.5%	5.5%	5.5%	6.3%	+0.8p	+0.9p

セグメント別 上期事業利益見通し 期初見通し*との差異

セグメント	27年3月期上期事業利益(億円) 5/13公表値→今回見通し ()内差異	増減益要因
繊維	350 → 380 (+30)	【衣料用途】縫製品は堅調に推移するものの、海外品との競争激化による数量減を見込む 【産業用途】自動車用途向け需要の回復が進む見込み
機能化成品	320 → 380 (+60)	【樹脂事業】 需要前倒しと国内自動車生産台数の回復に伴う販売増を見込む 【フィルム事業】 MLCC離型用途を中心に需要拡大の確実な取り込みを図るが、 欧米フィルム子会社は需要低迷の影響を受ける見通し 【電子情報材料事業】 パワーインダクタ向け新製品の販売が堅調に推移する見通し
炭素繊維 複合材料	115 → 150 (+35)	【航空、宇宙・防衛用途】 航空機用途で大手顧客の生産機数引き上げの進展に加え、 宇宙・防衛用途の販売も伸長する見通し
水処理・ヘルスケア	50 → 65 (+15)	【水処理事業】 主力のRO膜を中心に堅調に推移 【医薬・医療事業】 期初見通し通り
その他	50 → 50 (±0)	【エンジニアリング事業】 期初見通し通り
調整額	▲155 → ▲155 (±0)	
合計	730 → 870 (+140)	

* 期初見通し: 2026年5月13日公表値

Ⅲ

參考資料

億円

		26年3月期					27年3月期
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q
売上収益	繊維	2,399	2,641	3,009	2,462	10,511	2,599
	機能化成品	2,201	2,232	2,254	2,257	8,944	2,511
	炭素繊維複合材料	669	685	773	873	3,001	897
	水処理・ヘルスケア	358	415	436	459	1,668	407
	その他	332	411	380	604	1,726	376
	合計	5,958	6,385	6,852	6,656	25,851	6,790
事業利益	繊維	152	199	197	133	680	180
	機能化成品	136	152	143	132	563	231
	炭素繊維複合材料	46	48	20	62	176	79
	水処理・ヘルスケア	14	43	36	58	151	31
	その他	8	16	49	88	161	24
	調整額	▲ 65	▲ 69	▲ 74	▲ 104	▲ 312	▲ 61
	合計	291	388	372	368	1,419	484

繊維

		26年3月期					億円
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	27年3月期
							1Q
売上収益 合計		2,399	2,641	3,009	2,462	10,511	2,599
事業利益	衣料用途	132	178	183	119	612	132
	産業用途	20	20	15	13	68	47
	合計	152	199	197	133	680	180

機能化成品

		26年3月期					億円
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	27年3月期
							1Q
売上収益	樹脂・ケミカル	825	850	878	858	3,411	985
	フィルム	766	768	750	774	3,059	866
	電子情報材料	198	211	208	204	820	226
	その他・修正	411	403	419	422	1,654	435
	合計	2,201	2,232	2,254	2,257	8,944	2,511
事業利益	樹脂	48	57	62	47	214	102
	ケミカル	22	27	17	28	94	36
	フィルム	41	36	35	33	145	57
	電子情報材料	17	24	19	21	81	19
	その他・修正	8	8	10	3	29	16
	合計	136	152	143	132	563	231

億円

炭素繊維
複合材料

		26年3月期					27年3月期
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q
売上収益	航空、宇宙・防衛	233	255	344	384	1,216	388
	スポーツ	71	68	71	74	285	86
	一般産業	364	361	358	416	1,500	423
	合計	669	685	773	873	3,001	897
事業利益	航空、宇宙・防衛	40	30	41	66	177	54
	スポーツ・一般産業	6	18	▲ 20	▲ 4	▲ 1	25
	合計	46	48	20	62	176	79

億円

水処理・
ヘルスケア

		26年3月期					27年3月期
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q
売上収益	水処理	241	282	301	320	1,144	280
	医薬・医療	117	133	134	139	524	127
	合計	358	415	436	459	1,668	407
事業利益	水処理	23	44	38	50	155	32
	医薬・医療	▲ 13	0	▲ 1	12	▲ 2	▲ 9
	修正	3	▲ 1	▲ 1	▲ 3	▲ 2	8
	合計	14	43	36	58	151	31

主要子会社・地域の四半期売上収益推移

億円

		26年3月期					27年3月期
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q
東レインターナショナル		1,510	1,661	1,785	1,466	6,422	1,615
東レエンジニアリング		233	214	303	464	1,214	284
東レ建設		100	217	135	162	614	106
東レフィルム加工		106	102	105	101	413	115
在東南アジア 子会社	繊維	356	404	390	379	1,529	421
	機能化成品	373	393	389	285	1,440	363
	その他	25	20	24	26	96	21
	計	754	817	803	690	3,064	806
在中国 子会社	繊維	852	902	1,088	765	3,606	972
	機能化成品	288	307	343	304	1,243	385
	その他	102	106	109	103	418	104
	計	1,241	1,315	1,540	1,171	5,267	1,461
在韩国 子会社	繊維	178	179	194	198	749	204
	機能化成品	419	426	400	412	1,656	455
	その他	81	79	81	88	329	92
	計	678	684	675	698	2,734	750
欧米その他 子会社	繊維	268	274	254	279	1,075	291
	機能化成品	381	375	361	416	1,533	438
	その他	632	701	779	857	2,968	904
	計	1,281	1,350	1,394	1,552	5,577	1,633

主要子会社・地域の四半期事業利益推移

‘TORAY’

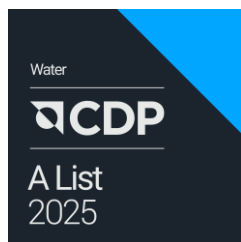
億円

		26年3月期					27年3月期
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q
東レインターナショナル		31	35	33	30	128	32
東レエンジニアリング		3	6	27	51	87	13
東レ建設		▲ 1	15	11	10	34	7
東レフィルム加工		10	10	13	11	44	15
在東南アジア 子会社	繊維	▲ 0	7	5	4	16	7
	機能化成品	19	20	25	21	85	34
	その他	0	▲ 0	▲ 0	0	0	0
	計	19	27	30	26	102	42
在中国 子会社	繊維	76	93	115	58	342	87
	機能化成品	17	19	18	14	69	20
	その他	7	8	7	2	24	7
	計	100	120	139	75	434	114
在韩国 子会社	繊維	2	2	5	▲ 6	3	10
	機能化成品	33	25	18	14	90	39
	その他	7	7	9	8	32	18
	計	43	34	32	16	125	68
欧米その他 子会社	繊維	5	▲ 1	▲ 11	▲ 10	▲ 16	5
	機能化成品	▲ 10	▲ 11	▲ 9	▲ 1	▲ 31	▲ 1
	その他	28	30	24	24	106	54
	計	23	18	4	13	58	58

■ CDP

2025年12月

Water Security:A
Climate Change:A-



■ 主要インデックスの構成銘柄に選定



2026年5月
「MSCI Selection Indexes」



FTSE4Good
2026年6月
「FTSE4Good Index Series」

2026年5月
「Dow Jones Best-in-Class Asia Pacific Index」



Sompo Sustainability Index

2026年6月
「SOMPOサステナビリティ・インデックス」

■ GPIFが採用するESG指数の構成銘柄に選定



FTSE JPX Blossom
Japan Index



FTSE JPX Blossom
Japan Sector
Relative Index



2026 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

2026 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

※1 東レ(株)のMSCI ESG Research LLCまたはその関連会社(「MSCI」)のデータの使用や、MSCIのロゴ、商標、サービスマークやインデックス名の使用は、MSCIによる東レ(株)の後援、宣伝、販売促進ではありません。

MSCIのサービスとデータは、MSCIまたはその情報プロバイダーの財産であり、「現状有姿」にて提供され保証はありません。MSCIの名称とロゴは、MSCIの商標またはサービスマークです。

※2 東レ(株)がMSCIインデックスに含まれること、およびMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたはインデックス名の使用は、MSCIまたはその関連会社による東レ(株)への後援、宣伝、販売促進には該当しません。

MSCIの独占的所有権であるMSCI、MSCIインデックス名およびロゴは、MSCIまたはその関連会社の商標もしくはサービスマークです。

本資料中の業績見通し及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。

'TORAY'

Innovation by Chemistry